

# 最先端技術を活用した 革新的な出入国審査等の実現

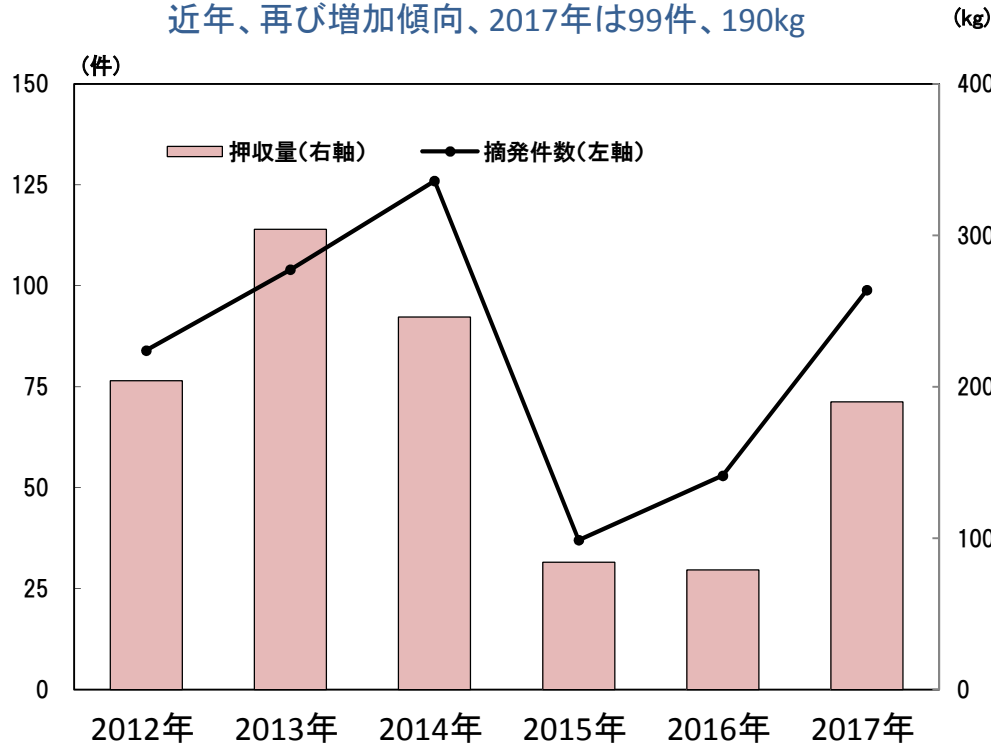
財務省

平成30年5月22日

- 訪日外国人旅行者の急増に伴い、入国者の迅速通関は重要な課題。
- 我が国における覚醒剤押収量の9割以上が水際取締り。航空機旅客による覚醒剤の密輸入は増加傾向。金地金の密輸入の大宗は航空機旅客。隠匿手口は巧妙化。
- 東京オリンピック・パラリンピックを控え、テロの脅威は現実化。

### <航空機旅客による覚醒剤の密輸入>

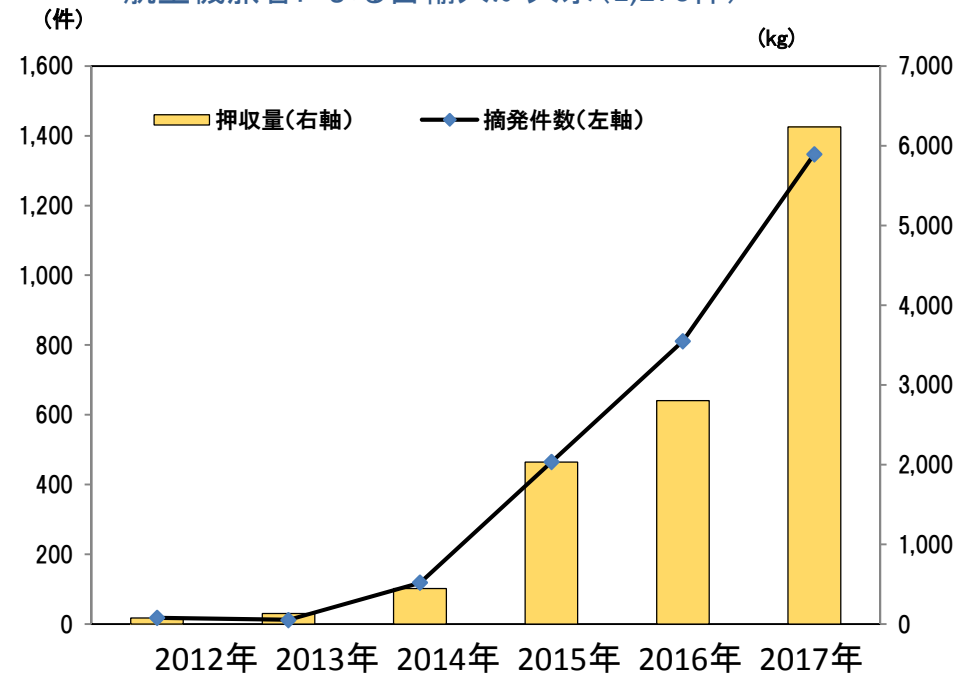
近年、再び増加傾向、2017年は99件、190kg



### <金地金の密輸入事犯の動向>

2017年の押収量は6トン超

航空機旅客による密輸入が大宗(1,270件)



※覚醒剤や金地金その他、税関では、銃刀類、知的財産侵害物品、ワシントン条約該当物品等の取締りも実施。



覚醒剤約12kgをスーツケースの背面部に隠匿



皮膚に模したシリコンで覆った腹部に金地金を隠匿



覚醒剤約30kgをコーヒー袋内に隠匿



空港の手荷物カートの底背面に金塊を目立たないように隠匿

○ 税関職員の経験や目利きだけに頼るのではなく、通関の一層の効率化のため、最先端技術を搭載した取締検査機器や情報等を活用した審査・検査を実施。

### <取締検査機器の拡充>

手荷物の開封や接触検査等をせずに隠匿物の有無を確認



3次元X線検査装置(2019年度)



小型X線検査装置(配備済)



門型金属探知機(配備済)



携帯型蛍光X線分析計(配備済)



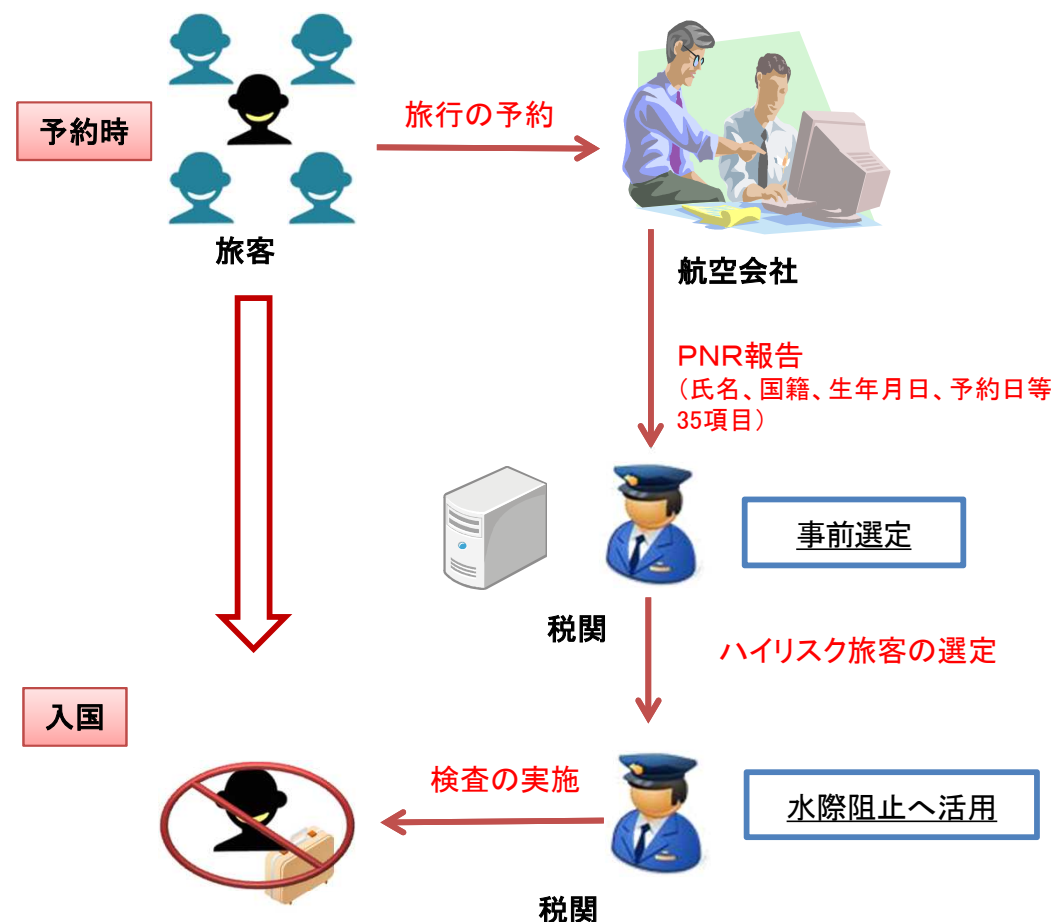
携帯型ラマン分光計(配備済)



液体検査装置(2018年度)

### <情報の活用>

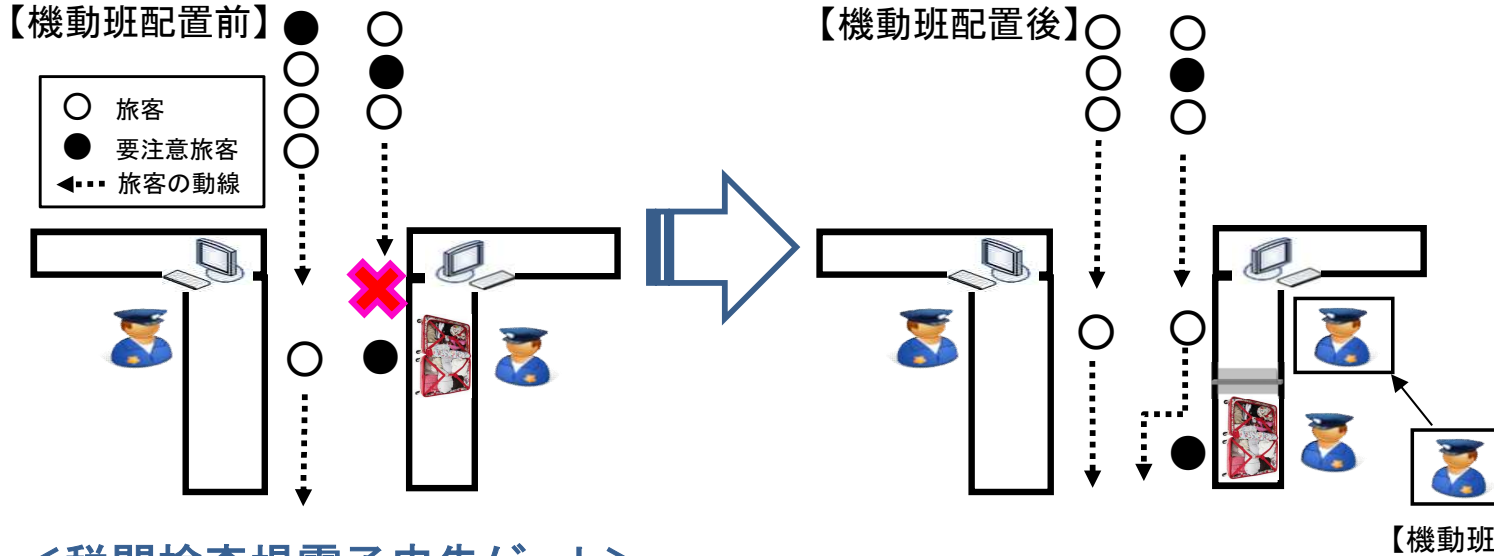
乗客予約記録(PNR)を分析し、ハイリスク旅客を選定



○ 旅客の流れを止めない検査体制の工夫等にも取り組み、旅客のストレスの軽減に一層努力。

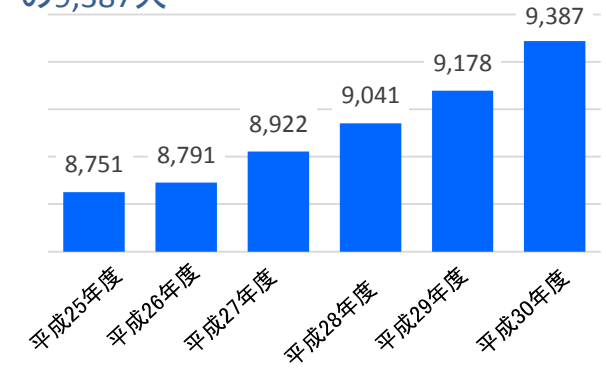
### <旅客の流れの停滞防止>

検査官が手荷物の開披検査を開始する際、旅客の流れを停滞させぬよう、検査台に別の職員(機動班)を複数配置。



### <計画的な体制整備>

平成30年度の定員は、前年度比209人増の9,387人



### <税関検査場電子申告ゲート>

電子的な携帯品申告情報及び旅券情報の提出を可能とすることにより、申告書の記入や旅券の読取り等の申告・審査手続きを効率化(2018年度)。将来的にはAI等による不審挙動旅客等の抽出も検討。



①税関アプリに携帯品申告情報を入力し、QRコードを受取

②QRコードとIC旅券を使い、キオスク端末で申告

③納税や別送品申告の必要がなく、税関検査不要の場合、迅速に通関